

42枚中の2枚目

[illegible]

学校名	東京都立 六郷工科 高等学校	課 程	全日制	科	工業科・プロダクト工学科（令和6年度入学生）	学年：（1）	学級数：（1）
-----	----------------	-----	-----	---	------------------------	--------	---------

各教科・科目	学 年	標準 単位 数	1年次			2年次			3年次			※科目ごとの履修単位 総数
	類 型											
	必履修・選択		必履修	学校必履修	自由選択	必履修	学校必履修	自由選択	必履修	学校必履修	自由選択	
	労 働 と 安 全	2						2 (1)				0～2
	3 D C A D 演 習	2									2 (1)	0～2
	自 動 車 に 関 わ る 法 令	2									2 (1)	0～2
	基 礎 自 動 車 工 学	2									2 (1)	0～2
	屋内配線施工技術応用	2						2 (2) ※○			2 (1) ※○	0～2
	基本情報処理技術	2						2 (1)			2 (1)	0～4
	電 子 工 作 演 習	2						2 (1) ※○			2 (1) ※○	0～2
	色 彩 演 習	2						2 (2)			2 (1)	0～4
	デ ッ サ ン	2						2 (1)			2 (1)	0～4
	グラフィックデザイン実習	2						2 (1)				0～2
専門教科・科目単位数計			9			12～18			15～25			36～52
総合的な探究の時間			0			0			0			0
自立活動			0～1			0～1			0～1			0～3
ホームルーム活動			1			1			1			3
生徒一人当たりの履修単位数計			34～40			28～35			24～44			86～119
習熟度別授業		(1) 数学Ⅰ（4単位）は1学級2展開 (2) 英語コミュニケーションⅠ（1年次3単位）英語コミュニケーションⅡ（2年次2単位、3年次2単位）は1学級2展開										
少人数指導授業		(1) 言語文化（2単位）は1クラス2展開で実施。 (2) 体育（1年次：3単位、2年次：2単位、3年次：2単位） 1年次：1クラス2展開 2年次：1クラス2展開 3年次：工業科とデュアルシステム科を併せて、2クラス3展開×2＋1クラス展開×2＝8講座 (3) 「働くこと生きること（1単位）」は、チームティーチング。 (4) 工業：工業技術基礎（4単位）、課題研究（3単位）及び実習科目は、1クラス3～5展開 工業情報数理（2単位（プロダクトのみ3単位））、機械製図（2～3単位）、自動車製図（2単位） 2、3年次の学校必履修の自動車工学（2単位）、 電気回路（1年3単位）、電気製図（2単位）、電子回路（2単位）、 デザイン製図（2単位）、デザイン実践（2年2単位及び3年2単位）、 デザイン材料（2年2単位及び3年2単位）、は1クラス2展開										
備考		(1) 1単位時間は45分とする。 (2) 卒業認定修得単位数は、74単位である。 (3) 2年次より次の「科目群（履修パターン）」のいずれかを選択する。 ①プロダクト工学、②自動車整備、③自動車製作、④電気システム、⑤コンピュータシステム、 ⑥ビジュアルデザイン、⑦プロダクトデザイン （講座数）の右①～⑦は、それぞれの履修パターン別科目であることを指す。 (4) 「情報Ⅰ」（2単位）は、1年「工業情報数理」（2単位）によって代替履修する。 (5) 「総合的な探究の時間」は（3単位）、3年「課題研究」（3単位）によって代替履修する。 (6) ○は2・3年次同時履修。 (7) ※は履修機会が1度の科目。 (8) ★は在京外国人等対象生徒教科科目。週時程外の放課後に設置する。 (9) 論理国語と英語コミュニケーションⅡは2年次（2単位）及び3年次（2単位）の4単位の学習をもって、科目の履修となる。 (10) 論理国語は現代の国語及び言語文化を履修した後に履修させる。 (11) 日本史探求及び世界史探求は歴史総合を履修した後に履修させる。 (12) 倫理及び政治経済は公共を履修した後に履修させる。 (13) 数学Ⅱと数学Ⅲを履修する場合は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲの順に履修させる。 (14) 数学Aを履修する場合は、数学Ⅰと並行してあるいは数学Ⅰを履修した後に履修させる。 (15) 数学Bを履修する場合は、数学Ⅰを履修した後に履修させる。 (16) 物理、化学については、それぞれに対応する基礎を付した科目を履修した後に履修させる。 (17) 芸術科目については、Ⅱを付した科目はそれぞれに対応するⅠを付した科目を履修した後に履修させる。 Ⅲを付した科目は、それぞれに対応するⅡを付した科目を履修した後に履修させる。 (18) 外国語の科目において、Ⅱを付した科目はそれぞれに対応するⅠを付した科目の履修後に履修させる。 (19) 日本語理解については、1年次の修得者に対して日本語検定3級取得には1単位、2級以上取得には2単位の増加単位修得を卒業時に認める。 (20) ☆特別的教育課程（日本語指導）は指導の対象の生徒のみ実施する。 (21) 自立活動は、通級による指導の対象生徒のみ実施する。 (22) 東京都立工芸高等学校において拠点校実習を実施（ホームページデザイン・インテリア・鋳造について、年間で4時間）。										

42枚中の4枚目

学校名	東京都立 六郷工科 高等学校	課 程	全日制	科 コース	工業科・オートモビル工学科（令和6年度入学生） 学年：（1） 学級数：（1）
-----	----------------	-----	-----	----------	---

[illegible]

学校名	東京都立 六郷工科 高等学校	課 程	全日制	科 コース	工業科・オートモビル工学科（令和6年度入学生） 学年：（1） 学級数：（1）
-----	----------------	-----	-----	----------	---

各教科・科目	学 年		標準 単位数	1年次			2年次			3年次			※科目ごと の履修単位 総数
	類 型												
	必履修・選択			必履修	学校必履修	自由選択	必履修	学校必履修	自由選択	必履修	学校必履修	自由選択	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3 (2)										3
	英語コミュニケーションⅡ	4					2 (2)				2 (2)		4
	英語コミュニケーションⅢ	4											
	論理・表現Ⅰ	2							2 (2) ※			2 (1) ※	0～2
	論理・表現Ⅱ	2											
	論理・表現Ⅲ	2											
家庭	家庭基礎	2					2 (1)						2
	家庭総合	4											
情報	情報Ⅰ	2											
	情報Ⅱ	2											
数理	理数探究基礎	1											
	理数探究	2～5											
地理歴史	江戸から東京へ	1～2											
国語	基礎国語	2							2 (2)				0～2
	実用国語	2										2 (3)	0～2
	発展国語	2										2 (1)	0～2
数学	数学演習	2										2 (1)	0～2
理科	物理演習	2										2 (1)	0～2
保健体育	生涯体育	2							2 (1)			2 (1)	0～4
外国語	英語演習	2										2 (1)	0～2
家庭	調理	2										2 (1)	0～2
	発達と保育	2										2 (1)	0～2
社会人としての教養	社会教養	1		1 (1)									1
ボランティア実践	ボランティア実践	1			1				1			1	0～3
日本の文化理解	日本語理解	4			4 (4) ★				2 ☆			0 ～ 2	0～8
学校関連	全定併修	2							2 ～ 6			2 ～ 6	0～12
人間と社会	働くことと生きること	1		1 (1)									1
普通教科・科目単位数計				24～29			15～22			8～25			47～76
工業	工業技術基礎	3～4		4 (4)									4
	課題研究	3～4									3 (3)		3
	自動車実習	6～12						4 (3)					4
	自動車製図	2～8										2 (2) ②	0～4
	工業情報数理	2～4		2 (2)									2
	自動車工学	4～8		3 (1)				2 (2)	2 (1) ②		2 (2)	2 (1) ②	7～11
	自動車整備	4～8							2 (1) ②			2 (1) ②	0～4
	通信技術	2～6							2 (1) ※○			2 (1) ※○	0～2
	ハードウェア技術	2～8							2 (1) ※○			2 (1) ※○	0～2
	デザイン史	2～4										2 (1)	0～2
	自動車整備実習	6～12							8 (2) ②			8 (2) ②	0～16
	自動車製作実習	6～12							4 (2) ③			4 (2) ③	0～8
	オートモビルCAD演習	2							2 (1) ③				0～2
	カーメカニズム	4										4 (1) ③	0～4

学校名	東京都立 六郷工科 高等学校	課 程	全日制	科	工業科・オートモビル工学科（令和6年度入学生）	学年：	(1)	学級数：	(1)
-----	----------------	-----	-----	---	-------------------------	-----	-----	------	-----

各教科・科目	学 年 類 型 必履修・選択	標準 単位 数	1年次			2年次			3年次			※科目ごとの履修単位数 総数
			必履修	学校必履修	自由選択	必履修	学校必履修	自由選択	必履修	学校必履修	自由選択	
労働と安全		2						2 (1)				0～2
3 D C A D 演習		2								2 (1)		0～2
自動車に関わる法令		2								2 (1)		0～2
基礎自動車工学		2								2 (1)		0～2
屋内配線施工技術応用		2						2 (2) ※○		2 (1) ※○		0～2
基本情報処理技術		2						2 (1)		2 (1)		0～4
電子工作演習		2						2 (1) ※○		2 (1) ※○		0～2
色彩演習		2						2 (2)		2 (1)		0～4
デッサン		2						2 (1)		2 (1)		0～4
グラフィックデザイン実習		2						2 (2)				0～2
専門教科・科目単位数計			9			12～18			13～25			34～52
総合的な探究の時間			0			0			0			0
自立活動			0～1			0～1			0～1			0～3
ホームルーム活動			1			1			1			3
生徒一人当たりの履修単位数計			34～40			28～35			22～44			84～119

習熟度別授業	(1) 数学Ⅰ(4単位)は1学級2展開 (2) 英語コミュニケーションⅠ(1年次3単位)英語コミュニケーションⅡ(2年次2単位、3年次2単位)は1学級2展開
少人数指導授業	(1) 言語文化(2単位)は1クラス2展開で実施。 (2) 体育(1年次：3単位、2年次：2単位、3年次：2単位) 1年次：1クラス2展開 2年次：1クラス2展開 3年次：工業科とデュアルシステム科を併せて、2クラス3展開×2+1クラス展開×2=8講座 (3) 「働くこと生きること(1単位)」は、チームティーチング。 (4) 工業：工業技術基礎(4単位)、課題研究(3単位)及び実習科目は、1クラス3～5展開 工業情報数理(2単位(プロダクトのみ3単位))、機械製図(2～3単位)、自動車製図(2単位) 2、3年次の学校必履修の自動車工学(2単位)、 電気回路(1年3単位)、電気製図(2単位)、電子回路(2単位)、 デザイン製図(2単位)、デザイン実践(2年2単位及び3年2単位)、 デザイン材料(2年2単位及び3年2単位)、は1クラス2展開
備考	(1) 1単位時間は45分とする。 (2) 卒業認定修得単位数は、74単位である。 (3) 2年次より次の「科目群(履修パターン)」のいずれかを選択する。 ①プロダクト工学、②自動車整備、③自動車製作、④電気システム、⑤コンピュータシステム、 ⑥ビジュアルデザイン、⑦プロダクトデザイン (講座数)の右①～⑦は、それぞれの履修パターン別科目であることを指す。 (4) 「情報Ⅰ」(2単位)は、1年「工業情報数理」(2単位)によって代替履修する。 (5) 「総合的な探究の時間」は(3単位)、3年「課題研究」(3単位)によって代替履修する。 (6) ○は2・3年次同時履修。 (7) ※は履修機会が1度の科目。 (8) ★は在京外国人等対象生徒教科科目。週時程外の放課後に設置する。 (9) 論理国語と英語コミュニケーションⅡは2年次(2単位)及び3年次(2単位)の4単位の学習をもって、科目の履修となる。 (10) 論理国語は現代の国語及び言語文化を履修した後に履修させる。 (11) 日本史探求及び世界史探求は歴史総合を履修した後に履修させる。 (12) 倫理及び政治経済は公共を履修した後に履修させる。 (13) 数学Ⅱと数学Ⅲを履修する場合は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲの順に履修させる。 (14) 数学Aを履修する場合は、数学Ⅰと並行してあるいは数学Ⅰを履修した後に履修させる。 (15) 数学Bを履修する場合は、数学Ⅰを履修した後に履修させる。 (16) 物理、化学については、それぞれに対応する基礎を付した科目を履修した後に履修させる。 (17) 芸術科目については、Ⅱを付した科目はそれぞれに対応するⅠを付した科目を履修した後に履修させる。 (18) 外国語の科目において、Ⅱを付した科目はそれぞれに対応するⅠを付した科目の履修後に履修させる。 (19) 日本語理解については、1年次の修得者に対して日本語検定3級取得には1単位、2級以上取得には2単位の増加単位修得を卒業時に認める。 (20) 特別の教育課程(日本語指導)は指導の対象の生徒のみ実施する。 (21) 自立活動は、通級による指導の対象生徒のみ実施する。 (22) 東京都立工芸高等学校において拠点校実習を実施(ホームページデザイン・インテリア・铸造について、年間で4時間)。

42枚中の7枚目

学校名	東京都立 六郷工科 高等学校	課 程	全日制	科 コース	工業科・システム工学科 (令和6年度入学生) 学年: (1) 学級数: (1)
-----	----------------	-----	-----	----------	--

各教科・科目		学 年		標準 単位 数	1年次			2年次			3年次			※科目ごと の履修単位 総数
		類 型												
		必履修・選択			必履修	学校必履修	自由選択	必履修	学校必履修	自由選択	必履修	学校必履修	自由選択	
国語	現 代 の 国 語	2	2 ⁽¹⁾											2
	言 語 文 化	2	2 ⁽²⁾											2
	論 理 国 語	4						2 ⁽¹⁾			2 ⁽¹⁾			4
	文 学 国 語	4												
	国 語 表 現	4												
	古 典 探 究	4												
地理歴史	地 理 総 合	2								2 ⁽¹⁾				2
	地 理 探 究	3												
	歴 史 総 合	2					2 ⁽¹⁾							2
	日 本 史 探 究	3										2 ⁽¹⁾		0～2
	世 界 史 探 究	3										2 ⁽¹⁾		0～2
公民	公 共	2	2 ⁽¹⁾											2
	倫 理	2										2 ⁽¹⁾		0～2
	政 治 ・ 経 済	2										2 ⁽²⁾		0～2
数学	数 学 I	3	4 ⁽²⁾											4
	数 学 II	4							4 ⁰					0～4
	数 学 III	3										4 ⁰		0～4
	数 学 A	2						2 ⁽¹⁾						2
	数 学 B	2							2 ⁰					0～2
	数 学 C	2										2 ⁰		0～2
理科	科 学 と 人 間 生 活	2	3 ⁽¹⁾											3
	物 理 基 礎	2					2 ⁽¹⁾							2
	物 理	4										4 ⁽¹⁾		0～4
	化 学 基 礎	2							2 ⁽¹⁾ ※○			2 ⁽¹⁾ ※○		0～2
	化 学	4										4 ⁽¹⁾		0～4
	生 物 基 礎	2												
	生 物	4												
	地 学 基 礎	2												
	地 学	4												
保健体育	体 育	7～8	3 ⁽²⁾					2 ⁽²⁾			2 ⁽⁸⁾			7
	保 健	2	1 ⁽¹⁾					1 ⁽¹⁾						2
芸術	音 楽 I	2	2 ⁽¹⁾											2
	音 楽 II	2							2 ⁽¹⁾					0～2
	音 楽 III	2										2 ⁽¹⁾		0～2
	美 術 I	2							2 ⁽¹⁾					0～2
	美 術 II	2										2 ⁽¹⁾		0～2
	美 術 III	2												
	工 芸 I	2												
	工 芸 II	2												
	工 芸 III	2												
	書 道 I	2							2 ⁽¹⁾					0～2
	書 道 II	2										2 ⁽¹⁾		0～2
	書 道 III	2												

〔様式 2 の 2〕

42枚中の8枚目

[illegible]

学校名	東京都立 六郷工科 高等学校			課 程	全日制	科 目	工業科・システム工学科 (令和6年度入学生)		
						コース	学年: (1) 学級数: (1)		

各教科・科目	学 年 類 型 必履修・選択	標準 単位 数	1年次			2年次			3年次			※科目ごとの履修単位 総数
			必履修	学校必履修	自由選択	必履修	学校必履修	自由選択	必履修	学校必履修	自由選択	
専 門 教 科	労 働 と 安 全	2						2 (1)				0～2
	3 D C A D 演 習	2								2 (1)	0～2	
	自動車に関わる法令	2								2 (1)	0～2	
	基礎自動車工学	2								2 (1)	0～2	
	屋内配線施工技術応用	2						2 (2) ※○		2 (1) ※○	0～2	
	基本情報処理技術	2						2 (1)		2 (1)	0～4	
	電 子 工 作 演 習	2						2 (1) ※○		2 (1) ※○	0～2	
	色 彩 演 習	2						2 (2)		2 (1)	0～4	
	デ ヶ ッ サ ン	2						2 (1)		2 (1)	0～4	
グラフィックデザイン実習	2						2 (2)			0～2		
専門教科・科目単位数計			9			12～18			13～25			34～52
総合的な探究の時間			0			0			0			0
自立活動			0～1			0～1			0～1			0～3
ホームルーム活動			1			1			1			3
生徒一人当たりの履修単位数計			34～40			28～35			22～44			84～119

習熟度別授業	(1) 数学Ⅰ(4単位)は1学級2展開 (2) 英語コミュニケーションⅠ(1年次3単位)英語コミュニケーションⅡ(2年次2単位、3年次2単位)は1学級2展開
少人数指導授業	(1) 言語文化(2単位)は1クラス2展開で実施。 (2) 体育(1年次:3単位、2年次:2単位、3年次:2単位) 1年次:1クラス2展開 2年次:1クラス2展開 3年次:工業科とデュアルシステム科を併せて、2クラス3展開×2+1クラス展開×2=8講座 (3) 「働くこと生きること(1単位)」は、ティームティーチング。 (4) 工業:工業技術基礎(4単位)、課題研究(3単位)及び実習科目は、1クラス3～5展開 工業情報数理(2単位(プロダクトのみ3単位))、機械製図(2～3単位)、自動車製図(2単位) 2、3年次の学校必履修の自動車工学(2単位)、 電気回路(1年3単位)、電気製図(2単位)、電子回路(2単位)、 デザイン製図(2単位)、デザイン実践(2年2単位及び3年2単位)、 デザイン材料(2年2単位及び3年2単位)、は1クラス2展開
備考	(1) 1単位時間は45分とする。 (2) 卒業認定修得単位数は、74単位である。 (3) 2年次より次の「科目群(履修パターン)」のいずれかを選択する。 ①プロダクト工学、②自動車整備、③自動車製作、④電気システム、⑤コンピュータシステム、 ⑥ビジュアルデザイン、⑦プロダクトデザイン (講座数)の右①～⑦は、それぞれの履修パターン別科目であることを指す。 (4) 「情報Ⅰ」(2単位)は、1年「工業情報数理」(2単位)によって代替履修する。 (5) 「総合的な探究の時間」は(3単位)、3年「課題研究」(3単位)によって代替履修する。 (6) ○は2・3年次同時履修。 (7) ※は履修機会が1度の科目。 (8) ★は在京外国人等対象生徒教科科目。週時程外の放課後に設置する。 (9) 論理国語と英語コミュニケーションⅡは2年次(2単位)及び3年次(2単位)の4単位の学習をもって、科目の履修となる。 (10) 論理国語は現代の国語及び言語文化を履修した後に履修させる。 (11) 日本史探求及び世界史探求は歴史総合を履修した後に履修させる。 (12) 倫理及び政治経済は公共を履修した後に履修させる。 (13) 数学Ⅱと数学Ⅲを履修する場合は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲの順に履修させる。 (14) 数学Aを履修する場合は、数学Ⅰと並行してあるいは数学Ⅰを履修した後に履修させる。 (15) 数学Bを履修する場合は、数学Ⅰを履修した後に履修させる。 (16) 物理、化学については、それぞれに対応する基礎を付した科目を履修した後に履修させる。 (17) 芸術科目については、Ⅱを付した科目はそれぞれに対応するⅠを付した科目を履修した後に履修させる。Ⅲを付した科目は、それぞれに対応するⅡを付した科目を履修した後に履修させる。 (18) 外国語の科目において、Ⅱを付した科目はそれぞれに対応するⅠを付した科目の履修後に履修させる。 (19) 日本語理解については、1年次の修得者に対して日本語検定3級取得には1単位、2級以上取得には2単位の増加単位修得を卒業時に認める。 (20) 特別の教育課程(日本語指導)は指導の対象の生徒のみ実施する。 (21) 自立活動は、通級による指導の対象生徒のみ実施する。 (22) 東京都立工芸高等学校において拠点校実習を実施(ホームページデザイン・インテリア・ Castingについて、年間で4時間)。

42枚中の10枚目

学校名	東京都立 六郷工科 高等学校	課 程	全日制	科 コース	工業科・デザイン工学科 (令和6年度入学生) 学年: (1) 学級数: (1)
-----	----------------	-----	-----	----------	--

[illegible]

学校名	東京都立 六郷工科 高等学校	課 程	全日制	科 コース	工業科・デザイン工学科（令和6年度入学生） 学年：（1） 学級数：（1）
-----	----------------	-----	-----	----------	---

各教科・科目	学 年 類 型 必履修・選択	標準 単位 数	1年次			2年次			3年次			※科目ごと の履修単位 総数	
			必履修	学校必履修	自由選択	必履修	学校必履修	自由選択	必履修	学校必履修	自由選択		
外国語	英 語 コミュニケーションⅠ	3	3 (2)									3	
	英 語 コミュニケーションⅡ	4				2 (2)			2 (2)			4	
	英 語 コミュニケーションⅢ	4											
	論 理 ・ 表 現Ⅰ	2						2 (2) ※			2 (1) ※	0～2	
	論 理 ・ 表 現Ⅱ	2											
	論 理 ・ 表 現Ⅲ	2											
家庭	家 庭 基 礎	2				2 (1)						2	
	家 庭 総 合	4											
情報	情 報Ⅰ	2											
	情 報Ⅱ	2											
数理	理 数 探 究 基 礎	1											
	理 数 探 究	2～5											
地理歴史	江 戸 から 東 京 へ	1～2											
国語	基 礎 国 語	2						2 (2)				0～2	
	実 用 国 語	2									2 (3)	0～2	
	発 展 国 語	2									2 (1)	0～2	
数学	数 学 演 習	2									2 (1)	0～2	
理科	物 理 演 習	2									2 (1)	0～2	
保健体育	生 涯 体 育	2						2 (1)			2 (1)	0～4	
外国語	英 語 演 習	2									2 (1)	0～2	
家庭	調 理	2									2 (1)	0～2	
	発 達 と 保 育	2									2 (1)	0～2	
社会人としての教養	社 会 教 養	1		1 (1)								1	
ボランティア実践	ボ ラ ン テ ィ ア 実 践	1			1			1			1	0～3	
日本の文化理解	日 本 語 理 解	4			4 (4) ★			2 ☆			0 ～ 2	0～8	
学校関連費	全 定 併 修	2						2 ～ 6			2 ～ 6	0～12	
人間と社会	働 く こ と と 生 き る こ と	1		1 (1)								1	
普通教科・科目単位数計				24～29			15～22			8～25			47～76
工業	工 業 技 術 基 礎	3～4		4 (4)								4	
	課 題 研 究	3～4								3 (4)		3	
	デ ザ イ ン 実 習	6～12		3 (4)			2 (3)					5	
	デ ザ イ ン 製 図	2～8					2 (2)					2	
	工 業 情 報 数 理	2～4		2 (2)								2	
	通 信 技 術	2～6						2 (1) ※○			2 (1) ※○	0～2	
	ハ ー ド ウ ェ ア 技 術	2～8						2 (1) ※○			2 (1) ※○	0～2	
	デ ザ イ ン 実 践	2～4						2 (2) ⑥			2 (2) ⑥	0～4	
	デ ザ イ ン 材 料	2～4						2 (2) ⑦			2 (2) ⑦	0～4	
	デ ザ イ ン 史	2～4									2 (1)	0～2	
	デザイン基礎実習	2					2 (3)					2	
	ビジュアルデザイン実習	6～12						4 (2) ⑥			4 (2) ⑥	0～8	
	プロダクトデザイン実習	6～12						4 (2) ⑦			4 (2) ⑦	0～8	
	ビジュアルメディア	4									4 (2) ⑥	0～4	
	工業デザイン制作実習	4									4 (2) ⑦	0～4	

学校名	東京都立 六郷工科 高等学校	課 程	全日制	科 目	工業科・デザイン工学科 (令和6年度入学生)
				コース	学年: (1) 学級数: (1)

各教科・科目	学 年 類 型 必履修・選択	標準 単位 数	1年次			2年次			3年次			※科目ごとの履修単位 総数
			必履修	学校必履修	自由選択	必履修	学校必履修	自由選択	必履修	学校必履修	自由選択	
労働と安全		2						2 (1)				0～2
3 D C A D 演習		2								2 (1)		0～2
自動車に関わる法令		2								2 (1)		0～2
基礎自動車工学		2								2 (1)		0～2
屋内配線施工技術応用		2						2 (2) ※○		2 (1) ※○		0～2
基本情報処理技術		2						2 (1)		2 (1)		0～4
電子工作演習		2						2 (1) ※○		2 (1) ※○		0～2
色彩演習		2						2 (2)		2 (1)		0～4
デ ッ サ ン		2						2 (1)		2 (1)		0～4
グラフィックデザイン実習		2						2 (2)				0～2
専門教科・科目単位数計			9			12～18			13～25			34～52
総合的な探究の時間			0			0			0			0
自立活動			0～1			0～1			0～1			0～3
ホームルーム活動			1			1			1			3
生徒一人当たりの履修単位数計			34～40			28～35			22～44			84～119

習熟度別授業	(1) 数学Ⅰ(4単位)は1学級2展開 (2) 英語コミュニケーションⅠ(1年次3単位)英語コミュニケーションⅡ(2年次2単位、3年次2単位)は1学級2展開
少人数指導授業	(1) 言語文化(2単位)は1クラス2展開で実施。 (2) 体育(1年次:3単位、2年次:2単位、3年次:2単位) 1年次:1クラス2展開 2年次:1クラス2展開 3年次:工業科とデュアルシステム科を併せて、2クラス3展開×2+1クラス展開×2=8講座 (3) 「働くこと生きること(1単位)」は、チームティーチング。 (4) 工業:工業技術基礎(4単位)、課題研究(3単位)及び実習科目は、1クラス3～5展開 工業情報数理(2単位(プロダクトのみ3単位))、機械製図(2～3単位)、自動車製図(2単位) 2、3年次の学校必履修の自動車工学(2単位)、 電気回路(1年3単位)、電気製図(2単位)、電子回路(2単位)、 デザイン製図(2単位)、デザイン実践(2年2単位及び3年2単位)、 デザイン材料(2年2単位及び3年2単位)、は1クラス2展開
備考	(1) 1単位時間は45分とする。 (2) 卒業認定修得単位数は、74単位である。 (3) 2年次より次の「科目群(履修パターン)」のいずれかを選択する。 ①プロダクト工学、②自動車整備、③自動車製作、④電気システム、⑤コンピュータシステム、 ⑥ビジュアルデザイン、⑦プロダクトデザイン (講座数)の右①～⑦は、それぞれの履修パターン別科目であることを指す。 (4) 「情報Ⅰ」(2単位)は、1年「工業情報数理」(2単位)によって代替履修する。 (5) 「総合的な探究の時間」は(3単位)、3年「課題研究」(3単位)によって代替履修する。 (6) ○は2・3年次同時履修。 (7) ※は履修機会が1度の科目。 (8) ★は在京外国人等対象生徒教科科目。週時程外の放課後に設置する。 (9) 論理国語と英語コミュニケーションⅡは2年次(2単位)及び3年次(2単位)の4単位の学習をもって、科目の履修となる。 (10) 論理国語は現代の国語及び言語文化を履修した後に履修させる。 (11) 日本史探求及び世界史探求は歴史総合を履修した後に履修させる。 (12) 倫理及び政治経済は公共を履修した後に履修させる。 (13) 数学Ⅱと数学Ⅲを履修する場合は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲの順に履修させる。 (14) 数学Aを履修する場合は、数学Ⅰと並行してあるいは数学Ⅰを履修した後に履修させる。 (15) 数学Bを履修する場合は、数学Ⅰを履修した後に履修させる。 (16) 物理、化学については、それぞれに対応する基礎を付した科目を履修した後に履修させる。 (17) 芸術科目については、Ⅱを付した科目はそれぞれに対応するⅠを付した科目を履修した後に履修させる。Ⅲを付した科目は、それぞれに対応するⅡを付した科目を履修した後に履修させる。 (18) 外国語の科目において、Ⅱを付した科目はそれぞれに対応するⅠを付した科目の履修後に履修させる。 (19) 日本語理解については、1年次の修得者に対して日本語検定3級取得には1単位、2級以上取得には2単位の増加単位修得を卒業時に認める。 (20) 特別の教育課程(日本語指導)は指導の対象の生徒のみ実施する。 (21) 自立活動は、通級による指導の対象生徒のみ実施する。 (22) 東京都立工芸高等学校において拠点校実習を実施(ホームページデザイン・インテリア・铸造について、年間で4時間)。

42枚中の37枚目

学校名	東京都立 六郷工科 高等学校	課 程	全日制	科 コース	工業科・デュアルシステム科 (令和6年度入学生) 学年： (1) 学級数： (1)
-----	----------------	-----	-----	----------	--

[illegible]

42枚中の38枚目

学校名	東京都立 六郷工科 高等学校		課 程		全 日 制		科 コース		工業科・デュアルシステム科（令和6年度入学生） 学年：（1） 学級数：（1）			
各教科・科目	学 年	標準 単位 数	1年次			2年次			3年次			※科目ごとの履修単位数 総数
	類 型		必修	学校必修	自由選択	必修	学校必修	自由選択	必修	学校必修	自由選択	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3 ^(注)									3
	英語コミュニケーションⅡ	4					2 ^(注)			2 ^(注)		4
	英語コミュニケーションⅢ	4										
	論理・表現Ⅰ	2										
	論理・表現Ⅱ	2										
家庭	論理・表現Ⅲ	2										
	家庭基礎	2			2 ^(注)							2
情報	家庭総合	4										
	情報Ⅰ	2										
数理	情報Ⅱ	2										
	理数探究基礎	1										
地理歴史	理数探究	2～5										
	江戸から東京へ	1～2										
国語	基礎国語	2										
	実用国語	2										
	発展国語	2										
数学	数学演習	2										
理科	物理演習	2										
	生涯体育	2										
外国語	英語演習	2										
	家庭調理	2										
家庭	発達と保育	2										
	社会教養	1		1 ^(注)								1
国際交流	ボランティア実践	4			1		1			1		0～3
	日本語理解	4			4 ^(注) ★					0～2		0～6
学習指導要領	全定併修	2					0～6			0～6		6
	働くこと生きること	1		2 ^(注)								2
普通教科・科目単位数計			20～25			15～16			12～13			47～54
工業	工業技術基礎	3～4		3 ^(注)								47
	課題研究	3～4								3 ^(注)		3
	実習	6～8					3 ^(注)			3 ^(注)		6
	製図	2～8		2 ^(注)								2
	工業情報数理	2～4		2 ^(注)								2
	機械設計	4～8						2 ^(注) ⑧		2 ^(注) ⑧		0～4
	電気回路	4～6						2 ^(注) ⑨		2 ^(注) ⑨		0～4
	基礎演習	2		2 ^(注)								2
	インターンシップ	2		2 ^(注)								2
	工業実践基礎	4				4 ^(注)						4
	工業実践応用	8				4 ^(注)				4 ^(注)		8
	工業実践発展	4								4 ^(注)		4
	機械演習	0～2						2 ^(注) ⑧				0～2
	電気演習	0～2						2 ^(注) ⑨				0～2
経営マネジメント入門	1								1 ^(注)		1	
専門教科・科目単位数計			11			15			17			43
総合的な探究の時間			0			0			0			0
自立活動			0～1			0～1			0～1			0～3
ホームルーム活動			1			1			1			3
生徒一人当たりの履修単位数計			32～38			31～33			30～34			93～105
習熟度別授業			(1) 1年次「英語コミュニケーションⅠ」（3単位）、2年次、3年次「英語コミュニケーションⅡ」（2単位）は2展開の習熟度別授業。 (2) 1，2年次の「数学Ⅰ」（2単位）、3年次の「数学A」（2単位）は2展開の習熟度別授業。									
少人数指導授業			(1) 1年次の「言語文化」（2単位）は2展開の少人数授業。 (2) 体育(1年次：3単位、2年次：2単位、3年次：2単位) 1年次：1クラス2展開 2年次：1クラス2展開 3年次：工業科とデュアルシステム科を併せて、2クラス3展開×2＋1クラス2展開＝8講座 (3) 「働くこと生きること（2単位）」と「経営マネジメント入門」は、チームティーチング。									
備考			(1) 1単位時間は45分とする。 (2) 卒業認定修得単位数は、74単位である。 (3) 2年次より次の「コース」のいずれかを選択する。 ⑧機械コース、⑨電気コース (講座数の右⑧、⑨は、それぞれのコース別科目であることを指す。 (4) 「情報Ⅰ」(2単位)は、1年「工業情報数理」(2単位)によって代替履修する。 (5) 「総合的な探究の時間」は(3単位)、3年「課題研究」(3単位)によって代替履修する。 (6) ★は在外国人等対象生徒教科科目。週時程外の放課後に設置する。 (7) 「論理国語」は2年次(2単位)及び3年次(2単位)の4単位、数学Ⅰは1年次(2単位)及び2年次(2単位)の4単位、「英語コミュニケーションⅡ」は2年次(2単位)及び3年次(2単位)をの4単位もって、科目の履修とする。 (8) 論理国語は現代の国語及び言語文化を履修した後に履修させる。 (9) 数学Aを履修する場合は、数学Ⅰと並行してあるいは数学Ⅰを履修した後に履修させる。 (10) 外国語の科目において、Ⅱを付した科目はそれぞれに対応するⅠを付した科目の履修後に履修させる。 (11) 日本語理解については、1年次の修得者に対して日本語検定3級取得には1単位、2級以上取得には2単位の増加単位修得を卒業時に認める。 (12) 特別的教育課程（日本語指導）は指導の対象生徒のみ実施する。 (13) 自立活動は、通級による指導の対象生徒のみ実施する。									